

中学校英語科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採点上の注意	配 点		
1	No.1	A (B) C D		各 5 × 6	30	
	No.2	A B (C) D				
	No.3	A B C (D)				
	No.4	A (B) C D				
	No.5	A B C (D)				
	No.6	(A) B C D				
2	A	The speaker defines it as a set of learned beliefs, values, and behaviors generally shared by the members of a society.	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 4	20	
	B	No.1				They can get good chance to practice a foreign language.
		No.2				It is that they have not improved much on objective measures, especially with respect to accuracy.
		No.3				By planning systematically for a continuum of practice from basic classroom instruction to pre-departure training, on-site observation and guidance, and courses for students returning home.
3	1	( ① )	エ	各 3 × 5	25	
		( ② )	オ			
		( ③ )	ア			
		( ④ )	ウ			
		( ⑤ )	イ			
	(2)	子供達が整えられた活動の中で一緒に楽しむだけでなく、彼ら自身で活動を生み出すことを学び、主体性を身に付けるため。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5		
	(3)	it		5		
	2	(1)	( ① )	エ	各 5 × 4	35
			( ② )	エ		
			( ③ )	エ		
( ⑤ )			ア			
(2)	which the group goal is perceived as learning or performance is related		5			
(3)	ウ	順序は問わない。	各 5 × 2			
	エ					
3	(1)	( ① )	ア	各 5 × 4	30	
		( ② )	エ			
		( ③ )	ウ			
		( ④ )	イ			
	(2)	The author compares the teacher to a good parent, one who must play many different roles — nurturing, informing, facilitating, correcting, and so on.	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		

中学校英語科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採点上の注意	配 点
4	<p>第1学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行わせること。その際、第1学年における学習内容を繰り返して指導し定着を図るとともに、事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容などの中からコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。</p>	<p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p>	15
5	<p>A: Hello! So, I have some questions about your school life. Can I start the interview?                      B: Sure.                      A: How many classes do you have in a day?                      B: Well, we usually have six classes in a day.                      A: I see. What do you usually do after school?                      B: We usually join club activities.                      A: What club do you belong to?                      B: I am a member of the basketball club.                      A: Wow! Where do you practice playing basketball?                      B: In the gym.                      A: Are you enjoying the basketball club?                      B: Yes, of course. We work together every day so that we can win the next game.                      A: Thank you and good luck.</p>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p>	20
6	<p>生徒が自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識し、的確な英語を使って聞き手に正しく伝えることができる力を身に付けさせるためには、英語の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる際に、機械的に練習するだけでなく、実際に言語の働きや言語の使用場面を踏まえた自己表現活動を通して定着を図ることが大切である。</p> <p>生徒に自己表現活動を行わせる場合は、「自分たちの生活の中にも同じような場面がある。」「学習した表現を使えば自分の気持ちをもっと上手に伝えることができる。」など、それらの表現の利便性を生徒に実感させる必要がある。指導においては、学習した表現を実際使用する場面に配慮し、その表現を使用する必然性のある活動を単元のゴールとして示すなど、日々の授業をつなげていくよう工夫する必要がある。</p> <p>例えば、中学2年生が、アメリカ出身のALTに日本のお祭りをハロウィンと比較して紹介するという活動を設定する。教師は、お祭りの写真を用意するなど生徒の興味を高めることが大切である。また、学習した表現の意味や用法を理解させるとともに、それを用いて日常生活で使える使用場面を例示し、それらを用いた英文を生徒が話したり、書いたりする活動に取り組ませる。生徒は、日本のお祭りやハロウィンについてノートに書いた説明文をもとに、ペアやグループで口頭による発表を行い、分かりやすい表現になっているか、また、目的に合った内容となっているか確認し合い、発表内容を完成させる。「ALTに紹介する」というゴールに向け、表現する必然性を生徒が意識し、取組への意欲向上につながると考える。</p>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p>	25